



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF K O B E

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

CHARTERED FEBRUARY 17 · 1930



- ブラザークラブ：高雄（台湾） チェンマイ（タイ） 米子（西日本区）
- 国際会長主題：すべての世界に出て行こう—イクステンション、イクステンション、イクステンション
- アジア会長主題：未来を始めよう、今すぐに—ひとつのアジア、世界はひとつ
- 西日本区理事主題：志をもって例会に参加し、学びの機会をもちましょう
- 六甲部部長主題：さらなる交流、さらなる国際、さらに活発な六甲部へ
- クラブ会長主題：クラブの伝統を踏まえ、それぞれの役割を愉しみながら、全員参加でクラブの新しい「顔」を皆で作ろう。そして、クラブに、沢山の新しいメンバーを迎え入れよう。

2013年10月

B F 強調月間

今月の聖句

(イエスは) ひざまずいて、こう祈られた。「父よ、御心なら、この杯をわたしから取りのけてください。しかしわたしの願いではなく、御心のままに行ってください」。

(中略) イエスは苦しみもだえ、いよいよ切に祈られた。

ルカによる福音書22章42節、44節

10月8日(火)第1例会

場所：三宮 YMCA 第3会議室 (旧サイコー亭)

開会点鐘 18時30分 進藤啓介会長

ドライバー 鵜丹谷剛兄

ワイズソング

聖句朗読・開会祈禱 大塚章信兄

[プログラム]

入会式

阪田昌三氏、中道基夫氏、山根泉氏

特別メネット 斎藤明子姉

事務連絡・ハッピーバースデイ

閉会点鐘 20時00分 進藤啓介会長

10月誕生日おめでとう

18日 江口 かおり

20日 城 純一

22日 鵜丹谷 剛

23日 河合 睦文

9月在籍者

19名

内功労会員

1名

合計 19名

9月出席者

メン 15名

メネット 8名

コメット 0名

ゲスト 3名

合計 26名

9月出席率

83%

(含メキヤップ)

前月出席率

67%

9月分BFポイント

切手 0円 現金 0円

本年度累計

切手 0円 現金 0円

10月22日(火)第2例会 19:00~

◎11月例会チャリティランの詳細確認

◎12月クリスマス例会、米子クラブ DBC について

◎その他事務連絡

第2例会においても、重要な議題を協議し決めてゆきます。都合をつけて出席をお願いします。

会長 進藤啓介 副会長 長内建佑 井出 浩 会計 森 章一

書記 鵜丹谷剛 山本亮司 連絡主事 山本亮司

口座番号 三井住友銀行三宮支店 普通預金No. 1494643 名義人 神戸ワイズメンズクラブ 会計 橋本正晴

例会：第1例会 毎月第2火曜日 18:30 第2例会 毎月第4火曜日 19:00

会長メッセージ 『入会式』

進藤啓介

嬉しい10月例会を迎えます。会長として初めての入会式です。神戸クラブとしては4年前のクリスマス例会で私が入会して以来の入会式になります。これからの神戸クラブを担ってくださる方がたを大いに歓迎し、共にYMCAをサポートしながらこの地域で我々ワイズメンが奉仕できる事を見つけて、コツコツと活動していきましょう。

この数年、もう一度足下を見つめて（脚下照顧）我々のクラブの『顔』を創ろうとしてきました。なんとなく、クラブが《動いている》感があるように思えます。そこに新しいメンバー4人が加わってくださいます。新しいエンジンが四つ増えます。何とも頼もしい限りです。

新しい方の、新しい発想、感性、目線、キャリアを、クラブの成長の肥しとして、新しい神戸クラブの伝統を創っていききたいものだと思います。常に、新しい・動いている事がYMCAの伝統でもありモットーでもあります。我々のクラブもそうありたいと思います。

さらに喜ばしい事は、スポンサーが1人ではなく、3人だということです。多くのメンバーがクラブを思い、それぞれの思いを込めてEMCに努力していただきました。今年もまだ9カ月あります。それぞれが努力してあと一回、二回と入会式が出来、新しいエンジンが増える事を楽しみにしたいと思います。

第12回六甲部会

神戸ポートクラブ25周年記念式典と第12回六甲部会が、9月7日に神戸駅南クリスタルタワー3階クリスタルホールで開催された。

午後1時から、六甲部会メネットアワーが開かれ、メネット、メンおよそ50名が出席。障がいのある子どもさんを育ててこられた3人の女性の、子育てを通して感じ、考えてこられたことのお話しに、耳を傾けた。

午後2時30分から、神戸ポートクラブの25周年記念式典がもたれた。佐野ポートクラブ会長の開会点鐘に始まり、中道基夫新神戸YMCA理事長、そして、高瀬稔彦西日本区理事の挨拶、映像を使っての25年の歩みの紹介と進み、25周年記念ファンドの、クラブから神戸YMCAへの贈呈で式は閉じられた。1時間の予定どおりにまとめられた良い会であった。

少しの休憩を挟んで、第12回六甲部会。バナーセレモニーのあと、部長の挨拶、各事業については、主任、主査から報告がなされた。記念講演は、神戸大学大学院海事科学研究科教授、矢野吉治氏から、氏が船長として学生の指導に当たっておられる練習船深江丸の日常の活動から、震災被災地支援活動に渡るお話をいただい

た。私の知らないところで、様々な支援活動が



山田六甲部長の挨拶

行われていることを教えられた。

140人近い参加者でもたれた懇親会は、西日本区からのアピール、六甲部各クラブからの歌の披露（神戸クラブは、鶴丹谷、山口両シンガーが所用で早退という事態となりながらも、進藤会長のリードで立派に歌い終えた）と賑やかで楽しくお開きを迎えた。

神戸クラブからは、進藤会長、鶴丹谷、森、山口、井出各メン、京極、橋本、森、山本、井出各メネットが参加した。（井出 浩記）

＜今月の聖句に添えて＞

十二弟子の一人、イスカリオテのユダの裏切りによりユダヤ教首脳の手によって逮捕されやがて十字架刑の処せられることになっていた直前のイエスの祈りです。人間的には弱いイエスです。十字架だけは避けて通らせてほしい。だがすべてを父である神の御心に委ねておられた。この時の祈りを「ゲッセマネの祈り」と呼んでいます。

(山根貞夫司祭@神愛修女会・深和ホーム)

メネットナイト

メネット会長 長内靖子

9月10日メネットナイト。メネットソングに続いて、橋本メネットによる聖句朗読・開会祈禱に始まり、ゲストの紹介。ゲストスピーカーの石田英子様、勝部洋子様、阪田昌三様、斉藤明子様、芦屋クラブから六甲部メネット事業主査五十嵐かほる様。総員26名参加。

そして進藤会長より神戸クラブ年内の予定、ファンド委員長長内メンよりジャガイモファンド、黒豆ファンドのお知らせ、城メンよりスペシャルオリンピックスの絵画展、五十嵐事業主査よりアート展のお知らせ。続いて、本日のゲストスピーカー石田英子様(ひょうご障がい福祉事業協会理事、はんしん自立の家施設長)のご紹介を京極メネットよりお話いただきました。



石田様のお話は、京極メネットが、これは伝えたいというシャンプーリンズのお話から。「シャンプーもリンズも皆が同じものを使えば1本で済むのに、どうしてそうしないのか」と監査で問われ、「施設の職員にとってもそれが便利だし、費用も手間もかかる。けれど家庭だったら、それぞれ好みのものがあるのではないか。家庭に変わる場所として50人の利用者一人一人を大切にしていきたい」と訴えたところ、厚生労働省が理解を示し監査を通ったそうです。

施設の生みの親はYMCA。理事長の片岡實氏が余島のキャンパーとして参加したことがきっかけでした。その時のキャンプに京極メネットご本人と、京極メネットや名田メネット、そしてゲストの勝部様のご主人も参加、その時のキャンプ長が今井鎮雄様だったそう

です。不思議な人の巡りあわせを感じます。

重い障がいのある方々が地域で暮らして行けるようにと昭和43年に活動はスタートしました。当時、重い障がいのある方は学校を卒業するとどこへも行けず施設に入るしかなかったようです。しかも30年前の施設の環境は悪く、学校を卒業するまでは楽しく過ごした人たちがこれからの生活をどうしたらいいんだろうかと考えている時に、たまたまイギリスの施設から派遣され来日されていたカタリーナ・トーメイさんが募金箱を見た小さなきっかけから、チェシャーホームに関わりができ、昭和56年11月実業で設立。昭和60年に、はんしん自立の家が出来ました。家庭にかわる場所として小さな子供から70歳を超えた方までいらっしゃるそうです。施設で開かれている「論語を読もう会」では、解らなくても声を出し勉強している喜びがあるそうです。たくさんの人々に支えられて楽しい時間を過ごしている様子が伝わってきます。そして、プロジェクターで、言葉の訓練、新しいセラピー、絵の教室など楽しく過ごしている日々の様子の紹介がありました。はりま自立の家を建てるとき地域の方が反対されていたようですが、30年経つと地域のお祭りのお神輿が一番に施設へと坂道を上がってくるようになったそうです。お祭りでの嬉しそうな笑顔の我が子の写真を見て、入院中の年老いた親は、喜んで安心したそうです。施設に入居している方々だけでなく、親にも寄り添っている姿に感激いたしました。これからも神戸ワイズで関わることがありましたらご協力したいと思います。

お知らせ

▼10月20日 三宮YMCA国際バザー

値付け作業：19日(土) 15時集合

当日：20日(日) 8時30分集合

▼10月23日(水) チャリティーゴルフ

場 所：芦屋ゴルフカントリークラブ

参加費：20,000円(予定)

▼11月4日 第16回チャリティーラン

詳細は後日。

▼枝豆ファンド

クラブファンドの季節限定の新商品です。

申し込み：10月15日まで

納品：10月20日(バザー当日)

価格：1株 1200円



Kobe Menettes

Declared March 10・1965

はたらきかた

橋本和子

私達メネットが20年近く関わっている活動が二つあります。一つはチェンマイへの衣類支援、そしてもう一つはカンボジャへの歯ブラシ運動です。どちらも核となる母体があって、今日まで参加者をふやしながら将にムーブメントとして動き続けています。

列をなしてどれが貰えるかと期待に弾むこどもたちの眼は私達のところをあつきました。



2012.02.06
小学校を訪ねる



さまざまな経緯でチェンマイを訪れ、彼の地の人々と交わり異文化理解を深めてきたひとびとが、チェンマイのために何かしたいと願ってうまれたグループがチェンマイマニアです。中心で働く木村多江さんは、YMCA から送られワラキット総主事宅でホームステイをして薫陶をうけ、4年間に及ぶ滞在を通して組織づくりと仲間を育成する力を身につけ、語学力はもとより豊かな人間関係を構築した貴い人材です。無理をしないで楽しく長く活動をつづけていくのがグループのモットーです。チェンマイで着られないワンピースやドレスなどの衣類は日本で販売し、仕分けされた衣類は支援物資としてチェンマイに送る活動を行っています。

毎月最終日曜日に長田区の六軒道商店街でフリーマーケットを開き、チェンマイへの輸送の費用を捻出するためにメンバーがボランティアで働いています。メネットとしては京極さん宅と橋本宅がキーステーションとなり衣類を預かりチェンマイマニアへの橋渡しに協力しています。昨年2月に衣類をもってサンカンペン YMCA を訪問しました。館長の PARE さんは私達の仲間でもありタイ側の責任者です。指導をうけて小学校を訪ね子供たちひとりひとりに衣類を手渡ししました。山間部に住む大勢の子供達、

二つめは歯ブラシ運動への参加です。姫路グローバル Ys の歯科医である英和夫メンを中心とするクラブの20年にわたる運動です。「メンバーの参加が多く歯科衛生士も加わって続いています。皆に支えられての20年です」「当初歯みがき指導をしていましたが今では地域の先生方が担い手となり傍でみまもっているのです」「この運動をラオスでもひろげたいと近年はラオスへとひろがっています」と嬉しいお話を聞きました。私達は歯ブラシを集めて届けるという協力の仕方ですが、この事を通してカンボジャに更にラオスへとつながっているのは喜びです。



集まった歯ブラシ

二つの小さくても長く続いているメネット活動です。